

## 産業・文化の発展、地域社会の振興を支え 地域に親しまれ、地域とともに歩んできた池新田高校

### 柳澤重夫市長

池新田高校は、大正8年に地域産業の中核である農業を担う人材育成を目的に開校しました。以来、大正、昭和、平成という時代の中で、社会の要請に応えつつ、産業・文化の発展、地域社会の振興を支え、2万人を超える有為な人材を輩出しわが国および地域の繁栄に寄与してまいりました。

また、野球、陸上競技、バレーボール、剣道、柔道、吹奏楽などの部活動における活躍は、地域に活力を与えてくれるものであり、同校が地元の期待を一心に背負っていることを実感できるものでした。まさに地域とともに歩む学校として連続と続いてまいりました。



こうした同校の隆盛は、組合立池新田農学校の初代校長であった丸尾謙二先生の、教育に献身するだけでなく、私財を投じるなど本校運営の安定のために苦心された御功績の賜物であり銘記すべきものと思っております。

現在に至るまでには、その時々々の生徒はもとより、歴代の教職員、PTA、同窓会、地域住民など数え切れないほど大勢の人の努力があり、その築かれた歴史と伝統は長く守られなければならないりません。

時代は新たに令和の世に入り、生徒数の減少、社会情勢の変化、個人の意識・価値観の多様化の中で、新構想高校に改編という新たな動きが出ています。しかしながら、池新田高校は本市唯一の高校です。今後とも可能な限りの支援を続けていく所存です。

## 高校存続はまちの将来に関わる まずは関心を持ってほしい

平成29年11月、県教委が県立高校第3次長期計画案を公表しました。それを受け同窓会では、卒業生や地域の方々から統合に対する意見を聞き、意見書として県教委へ提出しました。

来にも関わる重要なことですから。今後は、地域の問題として、まち一体となった対策を考えていきたいと考えています。

池新田高校は、まちの活性化に寄与し、地域でも存在感のある学校です。人口3万人以上のまちで高校がない地域は全国的にもありません。子どもたちの教育の機会を確保するためにも池新田高校を守らなくてはならないのです。

卒業生だけに限らず、市民の人には横須賀高校との統合について関心を持っていただければと思います。11月13日(水)には、100周年の記念式典を開催する予定です。また、毎年おきき祭や野球部の定期戦、吹奏楽部の定期演奏会といったイベントもあります。ぜひ来場いただき、学校をもっと知ってもらいたいです。



同窓会長  
赤堀吉史さん